

政治分野における男女共同参画推進

平成31年 4 月
総務省自治行政局

地方議会の自主的な取組例～議会への住民参加～

【全国都道府県財政課長・市町村担当
課長合同会議(平成31年1月25日)
提出資料】

沖縄県糸満市議会 ～ならではの視点で質問キラリ「女性模擬市議会」開催～

- ・人口(平成27年国調) 58,547人
- ・議員21人(うち女性議員2人)

○ 平成26年10月28日、市議会本会議場で「第3回糸満市女性模擬市議会」を開催。同議会は、市女性団体連絡協議会設立30周年記念事業の一環として、女性の視点から市民の声を行政に反映させることなどを目的に、前回から15年ぶりに開催。

○ 推薦や公募で当選した20代から70代までの21人の模擬市議員は、実際の市議会傍聴や講座受講など2か月間にわたる事前学習を経て一般質問を作成。

当日は市民130名が傍聴する中、市民会館の整備や待機児童の解消についてなど、福祉・教育・文化・防災・地域振興といった多岐にわたる分野で一般質問がなされ、市長や原課担当者が答弁に応じ、活発な議論が展開された。

糸満市女性模擬市議会開催



糸満市女性団体連絡協議会では、設立30周年を記念し「第3回糸満市女性模擬市議会」を開催します。
応募や推薦で、模擬市議会議員となった21名の方々が女性の視点から、市民の声を行政に反映させることを目的に「一般質問や議案提出」などを行います。
どうぞ、多くの皆様方の傍聴をお願いします。

主催：糸満市女性団体連絡協議会

日時：平成26年10月28日(火)
午前10時～17時

場所：糸満市議会本会議場(市庁舎4階)

連絡先：糸満市秘書広報課 ☎840-8118

富山県南砺市議会 ～南砺市女性議会～

- ・人口(平成27年国調) 51,350人
- ・議員20人(うち女性議員1人)

○ 平成21年度から始まった南砺市女性議会は、南砺市女性団体連絡協議会「さわやかネットワーク」が市政への関心を高め、地域リーダーを育成する目的で実施している。第9回目となる今回は、公募や加盟団体の推薦によって議員14名が選ばれ、市の施設などの現地視察研修や学習会等に取り組んだ。平成29年1月21日の本会議では、市民約30名が傍聴する中、一般質問を実施し、観光や伝統産業、地域包括ケア、食育、女性活躍について活発な議論が展開された。



地方議会活性化シンポジウム2018のご案内

開催趣旨

我が国では、人口減少社会を迎え、合意形成が困難な課題が増大する中、住民に身近な地域の問題を取り扱う地方議会が担う役割の重要性は高まっているが、投票率の低下や無投票当選の割合の増加に見られるように、地方議会に対する関心の低下や議員のなり手不足等の課題は深刻化してきており、これに対応し、各地方議会において、議員の裾野を広げるための様々な自主的な取組が行われている。

また、18歳選挙権が実現し、若者の政治参加への機運が高まってきているほか、政治分野における男女共同参画法が成立し、活躍する女性議員の数も着実に増加している。

こうした状況の中で、地方議会を巡る課題や具体的な取組を題材に、地方議会への多様な人材の参画をどのように実現するか等について意見交換を行うシンポジウムを開催し、広く情報発信する。

テーマ 人口減少社会を迎え、地方議会への多様な人材の参画をどのように実現するか

プログラム

シンポジウム

会場「醍醐」

- 14:30 受付開始
- 15:00 開会・総務省挨拶
- 15:05 基調講演 大山 礼子氏 駒澤大学法学部教授
- 15:50 休憩
- 16:05 パネルディスカッション

コーディネーター: 城本 勝氏 (株)日本国際放送社長
パネリスト: 岩永 ひさか氏 東京都多摩市議会議員
 大屋 雄裕氏 慶應義塾大学法学部教授
 下岡 幸文氏 長野県南木村議会議員
 鈴木 健太氏 秋田県議会議員
 谷口 尚子氏 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科准教授

※50音順

17:45 閉会

交流会

会場「嵯峨」

18:00~19:00 交流会 情報交換の場です。皆さんぜひご参加ください。

基調講演

「地方議会に未来はあるか？」



大山 礼子氏 駒澤大学法学部教授

1954年東京都生まれ。一橋大学大学院法学研究科修士課程修了。博士(法学)。国立国会図書館勤務、聖学院大学助教授、同教授を経て、2003年より現職。地方制度調査会委員、衆議院選挙区画定審議会委員。専攻は政治制度論。著書に『日本の国会』、『フランスの政治制度』など。

パネルディスカッション

コーディネーター

城本 勝氏

(株)日本国際放送社長

1957年熊本県生まれ。一橋大学社会学部卒業後、日本放送協会(NHK)に記者として入局。政治部副部長、報道記者室主任、解説委員室解説委員長、福岡放送社長を経て、2018年から現職。テレビの討論番組やシンポジウムの司会等を数多く担当。日本自治会連事も務める。

パネリスト

大屋 雄裕氏

慶應義塾大学法学部教授

1974年生まれ。東京大学法学部卒、同大学助手・名古屋大学大学院法学研究科教授を経て2015年から現職。専攻は法哲学。地方制度調査会委員、内閣府「人間中心のAI社会実現検討会議」構成員、総務省情報通信政策研究所特別研究員等を務める。著書に『法哲学と法政治の対話』(共著)、『裁判の原点:社会を動かす法入門』ほか。

パネリスト

鈴木 健太氏

秋田県議会議員

1975年大坂府生まれ。神戸市育ち。京都大学法学部卒業後、陸上自衛隊に幹部候補生として入隊。国内外で業務に従事。2006年に退職し、妻の地元秋田へ移住。司法書士として勤務するかたわら、2015年に秋田県議会議員に初当選。産業観光委員、地方創生に関する調査特別委員を務める。現在は、総務企画副委員長、4児の父でもある。



パネリスト

岩永 ひさか氏

東京都多摩市議会議員

1977年兵庫県神戸市生まれ。中央大学法学部政治学科卒業後、中小企業金融公庫(現在の日本政策金融公庫)に勤務。2002年4月多摩市議会議員補欠選挙に当選。2017年5月から多摩市議会議員。2006年明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科修了。公共政策修士(専門職)。

パネリスト

下岡 幸文氏

長野県南木村議会議員

1955年長野県南木村生まれ。東京農業大学卒業。元JAみなみ信州豊木支所長。2013年豊木村議員に初当選。現在2期目。2017年6月に議長就任。以「住民に必要とされる議会の役割とは何か」「地方議会での議員の仕事とは何か」「出来ない理由を考えるのではなく出来る理由を考えよう」という思いを基に独自の感覚で議会の活性化に取り組んでいる。



パネリスト

谷口 尚子氏

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科准教授

1970年広島県生まれ。慶應義塾大学大学院修了後、東京工業大学准教授を経て、2016年から現職。地方制度調査会委員、内閣府「地方分権改革推進委員会」議員、内閣府「地域魅力創造推進委員会」委員等を務める。著書に『現代日本の投票行動』ほか。



ヒアリング項目： 政治分野における男女共同参画推進

担当府省：総務省

第4次男女共同参画基本計画における記載箇所		P16 第2分野 政策・方針決定過程への女性の参画拡大 1 政治分野
女性活躍加速のための重点方針2018との関連	通し番号	152
	記載箇所	P20 II あらゆる分野における女性の活躍 3. あらゆる分野における女性の参画拡大・人材育成 (5) 政治分野
女性活躍加速のための重点方針2017との関連	通し番号	—
	記載箇所	—
女性活躍加速のための重点方針2016との関連	通し番号	—
	記載箇所	—
女性活躍加速のための重点方針2015との関連	通し番号	—
	記載箇所	—